

題名 繰り返してはいけない、繰り返したくない

鹿沼市立東中学校 (氏名) 杉野 璃子



私は広島での三日間を通して、「原爆」という広島での出来事を学んできました。中でも私は、平和記念資料館での見学や被爆体験講話学習で大きな衝撃を受けました。そこで見て、聞いた物は私たちが普段生活している現状の風景からは想像もつかないような惨酷なものばかりで、教科書の僅か数ページにしか載っていない「原爆」という文字には、たくさんの恐怖と悲劇がありました。被爆体験講話学習で聞いた話によると、爆心地近くの人たちは、熱と爆風により、骨まで灰になって、またその灰も約一ヵ月後に来た「枕崎台風」により消えてしまったそうです。私は、行方不明になった遺体がそんな消え方をしたなんて思いもよらなかったし、何よりも台風があったことが初耳で、自分が知っていると思っけていても、分かっていないことだらけだったんだな、と胸が苦しくなりました。しかし、絶対に繰り返してはいけない、絶対に忘れてはいけないのに、リトル・ボーイよりも大規模かつ正確な原子爆弾を所持している国が、世界に多くあり、このことが今の私たちの一番の恐怖であり、大きな問題であると改めて思いました。私はこの三日間を通して、「戦争」や「原爆」という存在や歴史を、想像だけでなく実際に起きたこととして直接知る、ということが一番大切であり、重要なんだな、と改めて気付かされました。繰り返したり、忘れたりしないためにも、たくさんの人へと広げて、この三日間を色あせないものにしたいと思いました。